

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

コード番号 8729 URL <http://www.sonyfh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井原 勝美

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 此尾 昌晃 TEL 03-5785-1074

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	871,505	10.8	55,492	3.0	32,781	44.5
24年3月期第3四半期	786,368	5.4	53,892	△22.3	22,690	△40.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 46,867百万円 (14.4%) 24年3月期第3四半期 40,984百万円 (7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	75.36	ー
24年3月期第3四半期	52.16	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,796,769	385,968	4.9
24年3月期	7,241,414	347,800	4.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 384,613百万円 24年3月期 346,540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
25年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
25年3月期(予想)	ー	ー	ー	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,157,000	7.3	74,000	△0.8	41,000	25.0	94.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
除外 2社 （社名）ソニーバンク証券株式会社・Sony Life Insurance (Philippines) Corporation  
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	435,000,000株	24年3月期	435,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	435,000,000株	24年3月期3Q	435,000,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、14ページの「注意事項」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 重要な後発事象 .....	13
4. 補足情報	
2012年度第3四半期（9カ月累計）連結業績およびソニー生命の2012年12月末MCEV .....	15

※ 当社は、2012年度第3四半期連結業績についての国内機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様態については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ（下記URL ご参照）に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

## 「2012年度第3四半期（累計）連結決算説明会」

開催予定日時           ：平成25年2月14日（木）16:00 より

当社ホームページURL   ：<http://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社は「平成24年度第3四半期業績のご報告」を、ソニー損害保険株式会社は「平成25年3月期 第3四半期（9カ月累計）の主要業績のお知らせ」を、ソニー銀行株式会社は「平成25年3月期 第3四半期決算の概要 [日本基準]（連結）」を、本日それぞれ発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL   ：<http://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL   ：<http://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL   ：<http://sonybank.net/>

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、生命保険事業、損害保険事業、および銀行事業のすべての事業において増加し、前年同期比10.8%増の8,715億円となりました。経常利益は、生命保険事業において増加、損害保険事業および銀行事業において減少した結果、前年同期比3.0%増の554億円となりました。経常利益から特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税等合計を差し引いた四半期純利益は、法人税率引き下げに関連して前年同期に繰延税金資産の一部を取り崩した影響もあり、前年同期比44.5%増の327億円となりました。

セグメントの業績は、連結相殺消去前の数値で、以下のとおりです。

## &lt;生命保険事業&gt;

生命保険事業においては、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が前年同期比9.2%増の6,574億円となりました。また、資産運用収益は、昨年12月末にかけての市況回復にともなう特別勘定の資産運用損益の改善などにより、前年同期比33.3%増の1,115億円となりました。その結果、経常収益は、前年同期比11.4%増の7,843億円となりました。経常利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益や債券入替にともなう有価証券売却益が当期においては減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、前年同期比4.4%増の517億円となりました。

## &lt;損害保険事業&gt;

損害保険事業においては、主力の自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びにより正味収入保険料が前年同期比6.0%増の629億円となりました。その結果、経常収益は前年同期比6.1%増の638億円となりました。経常収益が増加したものの、自動車保険における保険金単価の上昇などにより損害率が上昇し、経常利益は前年同期比37.8%減の10億円となりました。

## &lt;銀行事業&gt;

銀行事業においては、平成23年7月1日にソニー銀行が(株)スマートリンクネットワークを子会社化し、当年度においては、同社が期首より連結対象となったことにより役員取引等収益が増加し、経常収益は前年同期比5.5%増の251億円となりました。業務粗利益は、住宅ローン残高の増加にともなう資金運用収支の拡大や、前述の役員取引等収益の増加にともなう同収支の改善があったものの、外貨関連取引の利益減少もあり、前年同期比1.9%増の153億円となりました。また、営業経費は、前年同期比5.7%増の127億円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比1.0%減の25億円となりました。

なお、銀行事業の業績にはソニー銀行(連結)の業績には含まれていないのれんの償却費<sup>(※)</sup>3億円が含まれています。

(※)平成20年3月に、少数株主が保有していたソニー銀行株式の持分を当社が買取り、同社を完全子会社化した際に発生したもので、5年間の定額償却を行っております。

## 経常収益

(単位：百万円)

	平成24年3月期 (平成23年4月1日～ 平成23年12月31日)	平成25年3月期 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	増減率(%)
生命保険事業	703,971	784,377	11.4
損害保険事業	60,144	63,823	6.1
銀行事業	23,840	25,149	5.5
小計	787,956	873,350	10.8
セグメント間の 内部経常収益	△1,587	△1,844	—
連結	786,368	871,505	10.8

## 経常利益

(単位：百万円)

	平成24年3月期 (平成23年4月1日～ 平成23年12月31日)	平成25年3月期 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	増減率(%)
生命保険事業	49,591	51,789	4.4
損害保険事業	1,694	1,053	△37.8
銀行事業	2,534	2,507	△1.0
小計	53,819	55,351	2.8
事業セグメントに配分 していない損益等(※)	72	141	95.1
連結	53,892	55,492	3.0

(※) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前年度末比7.7%増の7兆7,967億円となりました。主な勘定残高は、国債を中心とした有価証券が前年度末比8.3%増の5兆9,930億円、貸出金が前年度末比9.9%増の1兆719億円、金銭の信託が前年度末比1.8%増の3,084億円であります。

負債の部合計は、前年度末比7.5%増の7兆4,108億円となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金が前年度末比8.4%増の5兆3,789億円、預金が前年度末比6.1%増の1兆8,683億円であります。

純資産の部合計は、前年度末比11.0%増加し3,859億円となりました。純資産の部のうち、その他有価証券評価差額金は、金利低下にともなう債券価格の上昇などにより、前年度末比140億円増の510億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の連結業績予想は、平成24年5月10日に公表した予想を「平成25年3月期第3四半期累計期間の決算速報および通期業績予想の上方修正のお知らせ」(平成25年2月7日公表)にて修正し、連結業績予想数値を公表しております。

修正後の通期の連結業績予想は、以下のとおりです。

[通期]

(単位：億円)

	(参考)実績 平成24年3月期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	予想 平成25年3月期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)
経常収益	10,780	11,570
経常利益	746	740
当期純利益	328	410

(ご参考)

平成25年2月7日に公表した、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の修正後の連結業績予想における、各事業別の業績予想(経常収益および経常利益)は、以下のとおりです。なお、下記の表の前回予想値は、期初において「平成24年3月期 決算短信」(平成24年5月18日付)にて公表した数値です。ただし、損害保険事業の経常収益については、平成24年11月14日付けにて修正した数値です。

セグメントの平成24年3月期の実績は、連結相殺消去前の数値となっておりますが、平成25年3月期の予想は、連結相殺消去後の数値となっております。

<生命保険事業>

経常収益、経常利益ともに、当第3四半期累計期間の実績が期初の予想を上回って推移したことを踏まえ、下記のとおり、通期予想を修正いたします。

なお、業績予想修正数値には、年初からの市況動向などを勘案しておりますが、実際の業績は、様々な要因によりこれと異なる可能性があります。

[通期]

(単位：億円)

	(参考) 実績 平成24年3月期	前回予想 平成25年3月期	今回予想 平成25年3月期
経常収益	9,675	9,945	10,381
経常利益	681	615	685

<損害保険事業>

経常収益、経常利益ともに、前回予想を修正いたしません。

[通期]

(単位：億円)

	(参考) 実績 平成24年3月期	予想 平成25年3月期
経常収益	800	850
経常利益	28	26

<銀行事業>

経常収益、経常利益ともに、前回予想を修正いたしません。

[通期]

(単位：億円)

	(参考) 実績 平成24年3月期	予想 平成25年3月期
経常収益	325	345
経常利益	34	36

(注) 上記の経常収益、経常利益および当期純利益の各欄に記載の金額は、億円単位未満を切り捨てて表示しています。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

ソニーバンク証券株式会社は、当社の銀行子会社（ソニー銀行株式会社）が全株式を譲渡したことにより、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、Sony Life Insurance (Philippines) Corporationは、当社の生命保険子会社（ソニー生命保険株式会社）が全株式を譲渡したことにより、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、一部の有形固定資産の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、親会社との会計方針の統一を目的として、第1四半期連結会計期間より将来にわたり定額法に変更しております。この結果、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費及び賃貸用不動産等減価償却費が302百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が302百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	118,877	96,231
コールローン及び買入手形	66,300	50,400
金銭の信託	303,058	308,443
有価証券	5,531,585	5,993,027
貸出金	975,032	1,071,943
有形固定資産	75,169	73,856
無形固定資産	36,636	37,846
のれん	839	403
その他	35,796	37,442
再保険貸	79	267
外国為替	8,936	10,728
その他資産	92,416	125,041
繰延税金資産	34,171	29,860
支払承諾見返	1,000	1,000
貸倒引当金	△1,848	△1,876
<b>資産の部合計</b>	<b>7,241,414</b>	<b>7,796,769</b>
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	4,963,025	5,378,958
支払備金	48,233	51,282
責任準備金	4,910,669	5,323,622
契約者配当準備金	4,122	4,053
代理店借	1,664	1,450
再保険借	647	507
預金	1,760,853	1,868,301
コールマネー及び売渡手形	10,000	10,000
借入金	2,000	2,000
外国為替	35	18
社債	10,000	10,000
その他負債	93,563	82,020
賞与引当金	2,944	1,708
退職給付引当金	21,547	23,543
役員退職慰労引当金	354	381
特別法上の準備金	25,386	30,321
価格変動準備金	25,380	30,321
金融商品取引責任準備金	6	—
再評価に係る繰延税金負債	589	589
支払承諾	1,000	1,000
<b>負債の部合計</b>	<b>6,893,613</b>	<b>7,410,801</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,900	19,900
資本剰余金	195,277	195,277
利益剰余金	98,677	122,759
株主資本合計	313,854	337,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,949	51,039
繰延ヘッジ損益	△2,414	△2,966
土地再評価差額金	△1,395	△1,395
為替換算調整勘定	△453	—
その他の包括利益累計額合計	32,685	46,677
少数株主持分	1,260	1,354
純資産の部合計	347,800	385,968
負債及び純資産の部合計	7,241,414	7,796,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
経常収益	786,368	871,505
生命保険事業	702,472	782,667
保険料等収入	601,520	656,715
資産運用収益	83,373	111,240
(うち利息及び配当金等収入)	72,314	80,092
(うち金銭の信託運用益)	3,958	3,934
(うち有価証券売却益)	7,088	2,458
(うち特別勘定資産運用益)	—	24,739
その他経常収益	17,578	14,711
損害保険事業	60,142	63,823
保険引受収益	59,449	63,011
(うち正味収入保険料)	59,426	62,987
(うち積立保険料等運用益)	23	24
資産運用収益	651	743
(うち利息及び配当金収入)	647	743
(うち有価証券売却益)	23	24
(うち積立保険料等運用益振替)	△23	△24
その他経常収益	42	68
銀行事業	23,753	25,015
資金運用収益	18,551	19,238
(うち貸出金利息)	9,919	10,367
(うち有価証券利息配当金)	8,593	8,814
役務取引等収益	3,263	3,968
その他業務収益	1,892	1,715
(うち外国為替売買益)	1,329	1,157
その他経常収益	46	92
経常費用	732,476	816,013
生命保険事業	654,027	732,111
保険金等支払金	216,472	215,554
(うち保険金)	52,627	51,683
(うち年金)	5,735	6,704
(うち給付金)	33,552	37,398
(うち解約返戻金)	121,257	116,510
(うちその他返戻金)	1,803	1,833
責任準備金等繰入額	315,000	409,557
責任準備金繰入額	314,989	409,547
契約者配当金積立利息繰入額	11	9
資産運用費用	29,728	9,317
(うち支払利息)	44	30
(うち有価証券売却損)	1,847	1,587
(うち有価証券評価損)	1,470	327
(うち特別勘定資産運用損)	18,792	—

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
事業費	77,547	79,934
その他経常費用	15,278	17,748
損害保険事業	58,049	62,304
保険引受費用	43,905	47,340
(うち正味支払保険金)	32,951	35,041
(うち損害調査費)	3,797	4,241
(うち諸手数料及び集金費)	761	734
(うち支払備金繰入額)	2,325	3,594
(うち責任準備金繰入額)	4,068	3,727
資産運用費用	2	5
(うち有価証券売却損)	0	3
営業費及び一般管理費	14,092	14,943
その他経常費用	49	14
銀行事業	20,398	21,597
資金調達費用	6,558	6,138
(うち預金利息)	5,111	4,934
役務取引等費用	1,031	1,128
その他業務費用	432	1,518
営業経費	11,879	12,631
その他経常費用	496	181
経常利益	53,892	55,492
特別利益	0	—
固定資産等処分益	0	—
特別損失	6,399	6,338
固定資産等処分損	31	15
減損損失	249	82
特別法上の準備金繰入額	6,118	4,940
価格変動準備金繰入額	6,118	4,940
関係会社株式売却損	—	1,299
その他特別損失	—	0
契約者配当準備金繰入額又は契約者配当準備金戻入額(△)	△113	136
税金等調整前四半期純利益	47,606	49,017
法人税及び住民税等	19,705	18,375
法人税等調整額	5,144	△2,233
法人税等合計	24,849	16,141
少数株主損益調整前四半期純利益	22,756	32,875
少数株主利益	66	94
四半期純利益	22,690	32,781

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,756	32,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,377	14,090
繰延ヘッジ損益	△1,102	△552
土地再評価差額金	103	—
為替換算調整勘定	△149	453
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	18,227	13,991
四半期包括利益	40,984	46,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,918	46,773
少数株主に係る四半期包括利益	66	94

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計
経常収益				
(1) 外部顧客に対する 経常収益	702,472	60,142	23,753	786,368
(2) セグメント間の 内部経常収益	1,499	1	86	1,587
計	703,971	60,144	23,840	787,956
セグメント利益	49,591	1,694	2,534	53,819

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	53,819
セグメント間取引の調整額	7
事業セグメントに配分していない損益 (注)	64
四半期連結損益計算書の経常利益	53,892

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計
経常収益				
（1）外部顧客に対する 経常収益	782,667	63,823	25,015	871,505
（2）セグメント間の 内部経常収益	1,710	0	134	1,844
計	784,377	63,823	25,149	873,350
セグメント利益	51,789	1,053	2,507	55,351

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	55,351
セグメント間取引の調整額	5
事業セグメントに配分していない損益（注）	136
四半期連結損益計算書の経常利益	55,492

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

## 国内普通社債の発行

平成24年12月25日開催の取締役会決議に基づき、次のとおり国内普通社債を発行いたしました。

銘柄	ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社第2回無担保社債
発行総額	10,000百万円
発行年月日	平成25年1月31日
発行価格	各社債の金額100円につき金100円
利率	年0.434%
償還期限及び償還方法	平成30年2月5日 満期一括償還
資金使途	投融資資金として、完全子会社であるソニー銀行株式会社への貸付金に充当いたしました。

当社の連結業績<sup>(※)</sup>は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

(※) 当社の連結業績の範囲には、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社、ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社、Sony Life Insurance (Philippines) Corporation、ソニーバンク証券株式会社、株式会社スマートリンクネットワークならびに、持分法適用会社としてソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社およびSA Reinsurance Ltd.が含まれております。なお、ソニーバンク証券株式会社については、平成24年8月1日付にて、Sony Life Insurance (Philippines) Corporationについては、平成24年12月6日付にて連結業績の範囲から外れました。

また、ソニー株式会社が平成25年2月7日に発表した2024年度（平成24年10月1日～平成24年12月31日）連結業績において、当社グループはソニーグループの金融分野における主要な部分を構成しておりますが、当社の連結範囲と、ソニー株式会社がソニーグループの金融分野として位置づける範囲は同一ではありません。

#### 注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にもたびたび含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しの上に全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。当社はそのような見直しの義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

4. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

**2012年度第3四半期（9カ月累計）連結業績およびソニー生命の2012年12月末MCEV**

2012年度第3四半期（9カ月累計）連結業績 .....	3
2012年度 連結業績予想 .....	26
ソニー生命の2012年12月末MCEVおよび経済価値ベースのリスク量.....	28
参考情報.....	30

## 【プレゼンテーション資料】

# 2012年度第3四半期(9カ月累計) 連結業績 および ソニー生命の2012年12月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
2013年2月14日

1

## 目次

- 2012年度第3四半期(9カ月累計) 連結業績 P. 3
- 2012年度 連結業績予想 P.26
- ソニー生命の2012年12月末MCEV  
および経済価値ベースのリスク量 P.28
- 参考情報 P.30

### 免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。当社グループはいずれもそのような見直しの義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

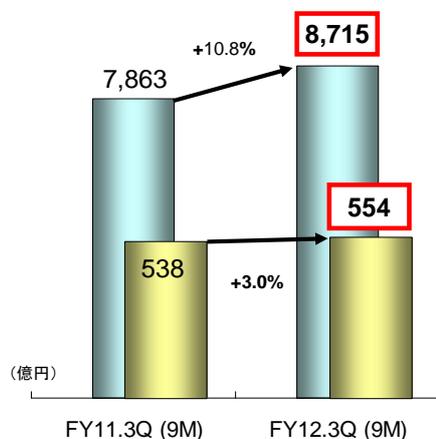
2

## 2012年度第3四半期（9カ月累計） 連結業績

3

### 連結業績ハイライト(1)

□ 経常収益 □ 経常利益



		(億円)		前年同期比	
		FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)		
生命保険事業	経常収益	7,039	7,843	+804	+11.4%
	経常利益	495	517	+21	+4.4%
損害保険事業	経常収益	601	638	+36	+6.1%
	経常利益	16	10	▲6	▲37.8%
銀行事業	経常収益	238	251	+13	+5.5%
	経常利益	25	25	▲0	▲1.0%
セグメント間取引等の消去 <sup>*1</sup>	経常収益	▲15	▲18	▲2	—
	経常利益	0	1	+0	+95.1%
グループ連結	経常収益	7,863	8,715	+851	+10.8%
	経常利益	538	554	+16	+3.0%
	四半期純利益	226	327	+100	+44.5%

		(億円)		前年度末比	
		12.3末	12.12末		
グループ連結	総資産	72,414	77,967	+5,553	+7.7%
	純資産	3,478	3,859	+381	+11.0%

\*1 経常利益については、主として持株会社(SFH)にかかる損益

\*2 包括利益: FY11.3Q (9M) ……409億円、FY12.3Q (9M) ……468億円

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

4

## 連結業績ハイライト(2)



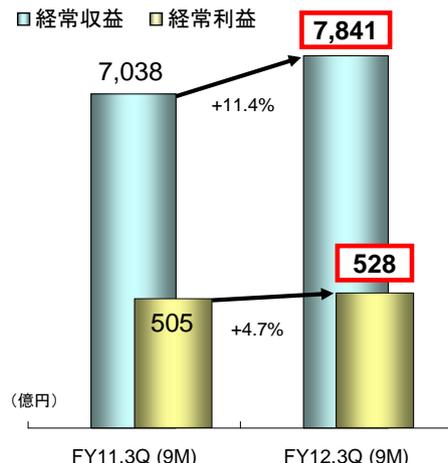
- 生命保険事業:**  
 保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したこと、および昨年12月末にかけての市況回復にともない特別勘定の資産運用損益が改善したことなどにより、経常収益は増加。経常利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益や債券入替にともなう有価証券売却益が当期では減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。
- 損害保険事業:**  
 主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が増加したことにより、経常収益は増加。一方、経常利益は、自動車保険における保険金単価の上昇などにより損害率が上昇したことから、減少。
- 銀行事業:**  
 2011年7月1日にソニー銀行が、(株)スマートリンクネットワークを子会社化し、当期においては同社が期首より連結対象であったことにより役務取引等収益が増加し、経常収益は増加。一方、経常利益は、住宅ローン取引に係る利益が増加したものの、外貨関連取引に係る利益が減少したことから、ほぼ横ばい。
- SFH連結:**  
 連結経常収益は、生命保険事業、損害保険事業、および銀行事業のすべての事業において増加し、前年同期比10.8%増の8,715億円。連結経常利益は、生命保険事業において増加、損害保険事業および銀行事業において減少した結果、前年同期比3.0%増の554億円。四半期純利益は、法人税率引き下げに関連して前年同期に繰延税金資産の一部を取り崩した影響もあり、前年同期比44.5%増の327億円。

5

## ソニー生命 業績ハイライト(単体)



□ 経常収益 □ 経常利益



- ◆ 前年同期比 増収増益。
- ◆ 保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加。
- ◆ 資産運用収益は、昨年12月末にかけての市況回復にともなう特別勘定の資産運用損益の改善などにより増加。
- ◆ 経常利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益や債券入替にともなう有価証券売却益が当期では減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
<b>経常収益</b>	7,038	<b>7,841</b>	+803	+11.4%
保険料等収入	6,020	<b>6,573</b>	+552	+9.2%
資産運用収益	835	<b>1,114</b>	+278	+33.3%
うち利息及び配当金等収入	725	<b>803</b>	+78	+10.8%
うち金銭の信託運用益	39	<b>39</b>	▲0	▲0.6%
うち有価証券売却益	70	<b>23</b>	▲46	▲66.6%
うち特別勘定資産運用益	—	<b>247</b>	+247	—
<b>経常費用</b>	6,533	<b>7,312</b>	+779	+11.9%
保険金等支払金	2,164	<b>2,155</b>	▲9	▲0.4%
責任準備金等繰入額	3,149	<b>4,095</b>	+945	+30.0%
資産運用費用	298	<b>94</b>	▲203	▲68.3%
うち有価証券売却損	18	<b>15</b>	▲2	▲14.1%
うち特別勘定資産運用損	187	<b>—</b>	▲187	▲100.0%
事業費	776	<b>800</b>	+23	+3.1%
<b>経常利益</b>	505	<b>528</b>	+23	+4.7%
<b>四半期純利益</b>	222	<b>311</b>	+88	+40.0%
(億円)	12.3末	12.12末	前年度末比	
<b>有価証券残高</b>	45,450	<b>49,576</b>	+4,126	+9.1%
<b>責任準備金残高</b>	48,430	<b>52,525</b>	+4,095	+8.5%
<b>純資産額</b>	2,648	<b>2,986</b>	+337	+12.8%
その他有価証券評価差額金	340	<b>457</b>	+117	+34.5%
<b>総資産額</b>	52,228	<b>56,608</b>	+4,380	+8.4%
特別勘定資産	4,442	<b>4,878</b>	+435	+9.8%

6

# ソニー生命 主要業績指標(単体)



(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
新契約高	32,271	32,159	▲0.3%
解約・失効高	15,619	14,515	▲7.1%
解約・失効率	4.50%	4.03%	▲0.47pt
保有契約高	358,079	372,036	+3.9%
新契約年換算保険料	531	511	▲3.7%
うち第三分野	130	131	+0.9%
保有契約年換算保険料	6,276	6,578	+4.8%
うち第三分野	1,473	1,557	+5.7%

(注) 新契約高、解約・失効高、解約・失効率、保有契約高、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

## <主な増減要因>

◆ 家族収入保険の販売が減少したものの、生前給付保険などの販売が増加したことにより、ほぼ横ばい。

◆ 解約・失効率は、定期保険を中心に総じて低下。

◆ 生前給付保険などの販売が順調だったものの、がん入院保険の販売が減少したことにより、減少。

◆ 有価証券売却益が減少したものの利息及び配当金等収入が増加したことにより、増加。

◆ 基礎利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益が当期においては減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
資産運用損益(一般勘定)	725	771	+6.5%
基礎利益	509	570	+12.0%
逆ざや額 (▲)	▲17	11	—

(注) 逆ざや額のプラスは順ざや額を表します。

	12.3末	12.12末	前年度末比
単体 ソルベンシー・マージン比率	1,980.4%	2,240.5%	+260.1pt

(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

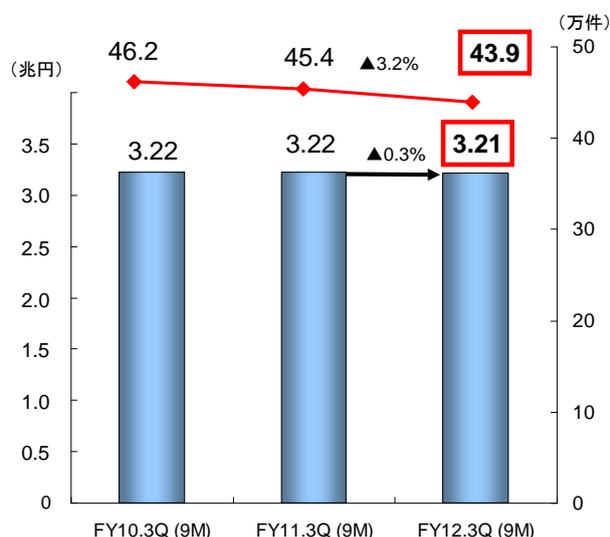
※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー生命の業績(1)



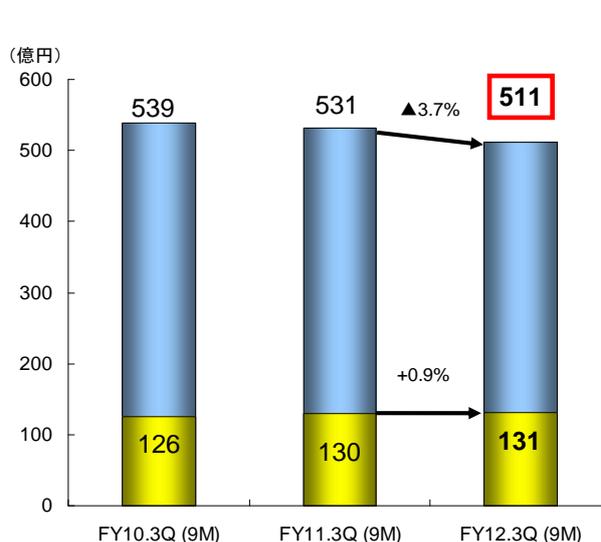
## 新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

■ 新契約高 — 新契約件数



## 新契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

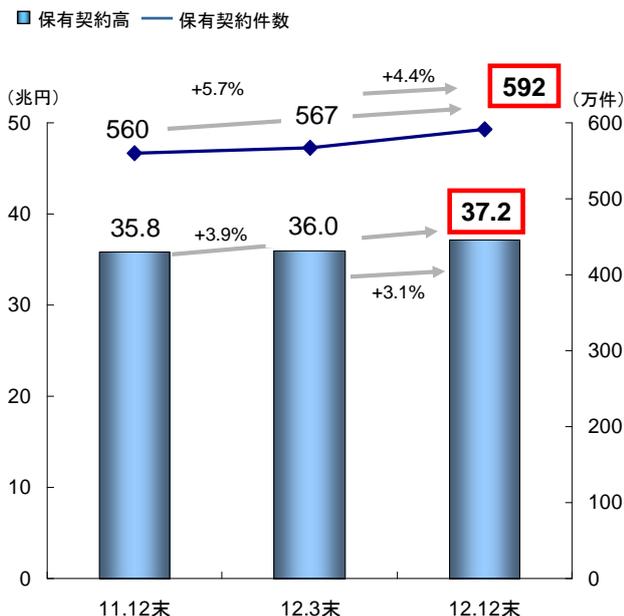
■ 新契約年換算保険料 ■ うち、第三分野



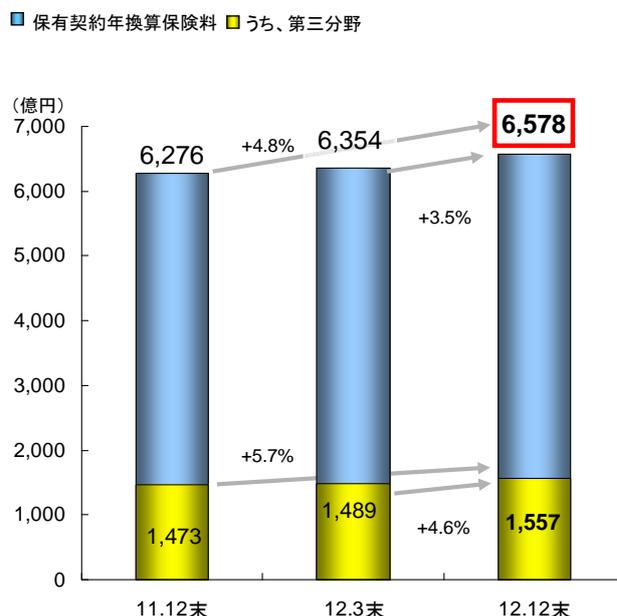
※新契約高は百億円未満切捨て、新契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

## ソニー生命の業績(2)

### 保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)



### 保有契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

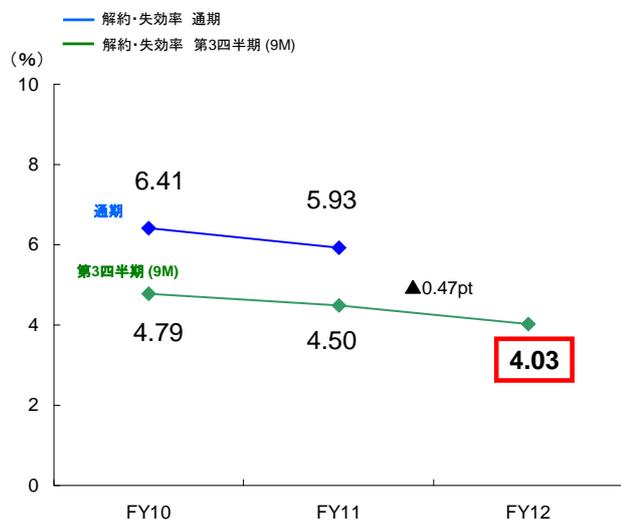


※保有契約高は千億円未満切捨て、保有契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

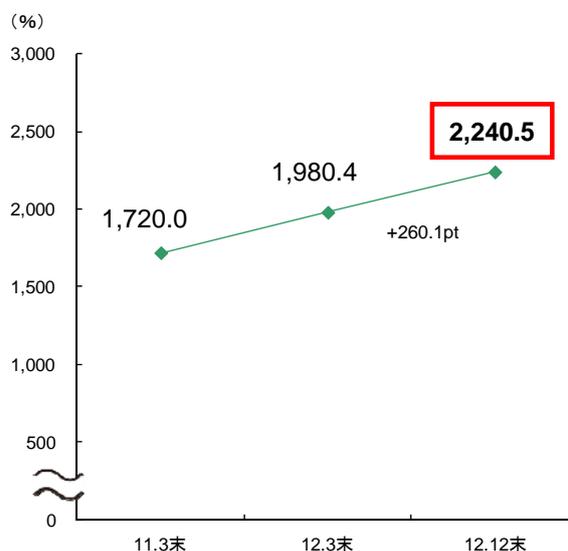
## ソニー生命の業績(3)

### 解約・失効率\* (個人保険+個人年金保険) ＜通期・第3四半期(9カ月累計)＞

\*解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率



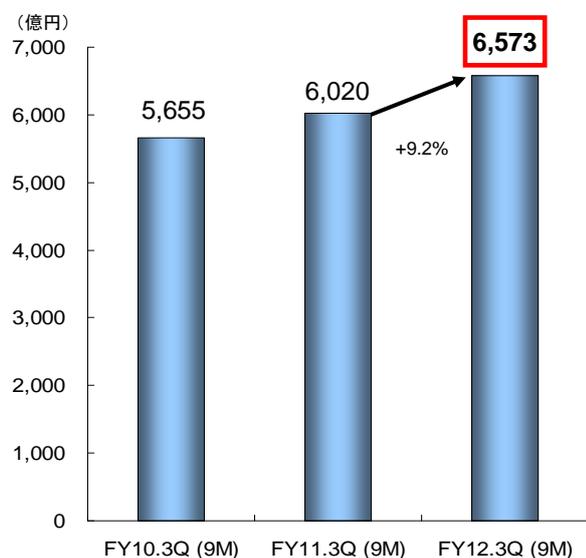
### 単体ソルベンシー・マージン比率



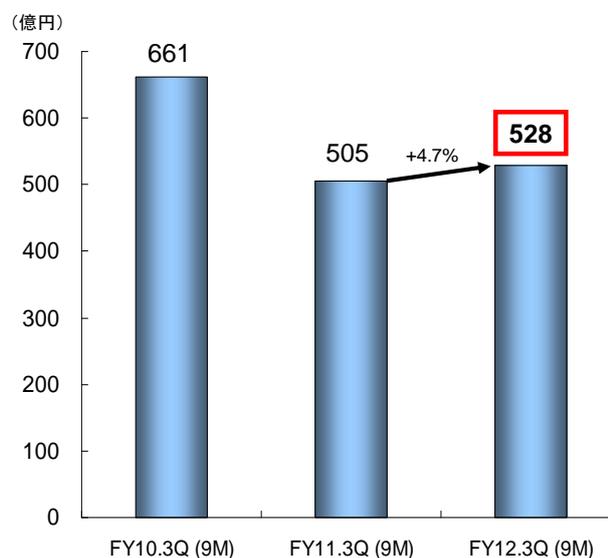
(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

## ソニー生命の業績(4)

### 保険料等収入



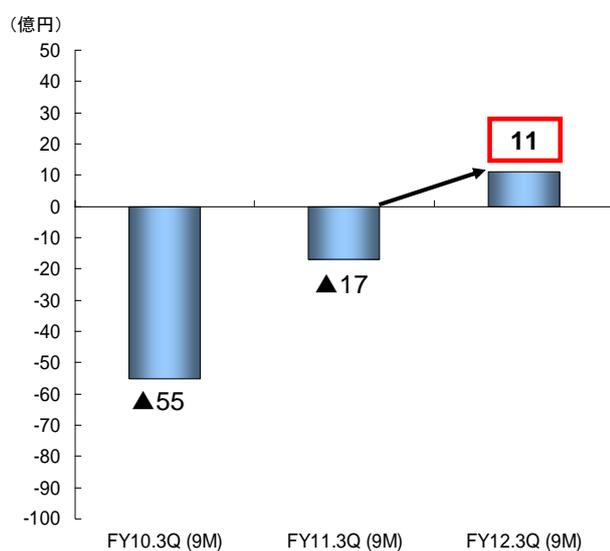
### 経常利益



※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

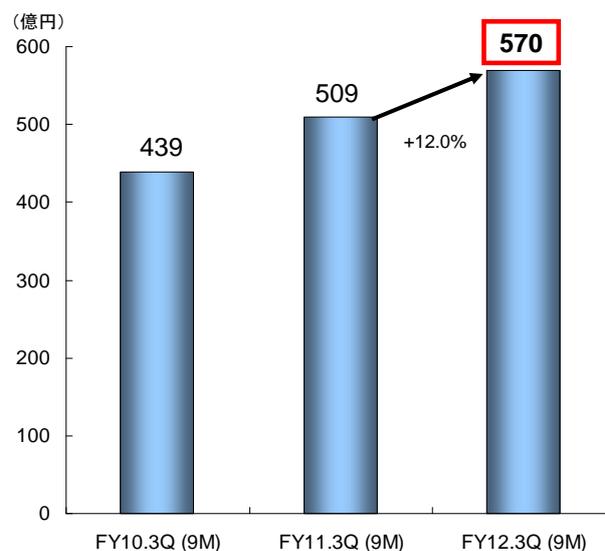
## ソニー生命の業績(5)

### 逆ざや額



(注)逆ざや額のプラスは順ざや額を表します。

### 基礎利益



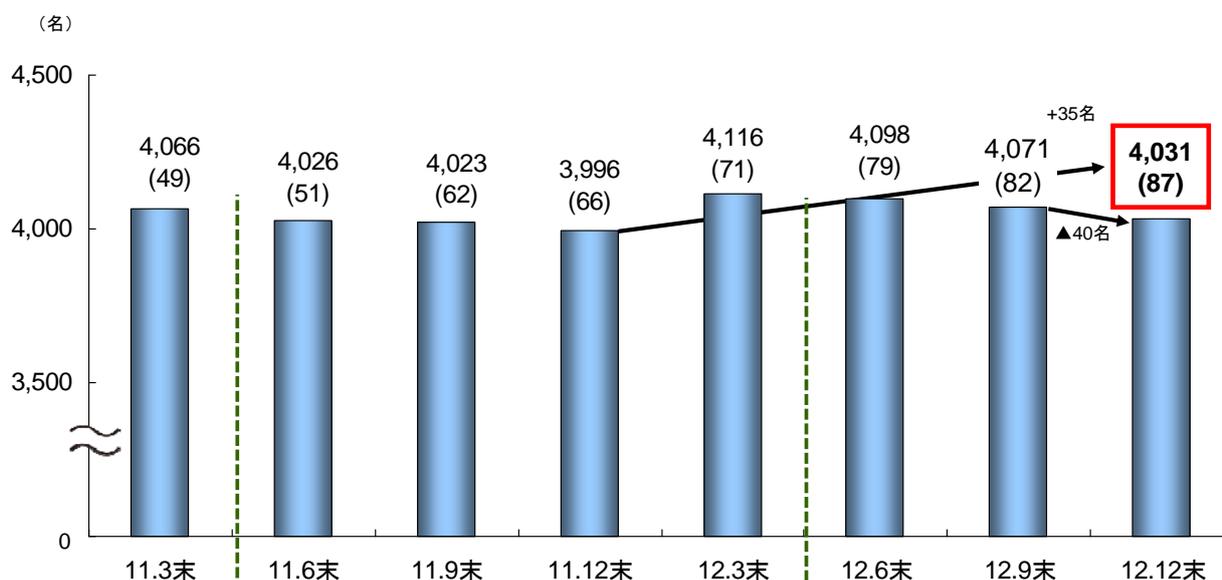
(参考)変額保険の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入額 (単位:億円)

期間	FY10.3Q (9M)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期差
	45	56	12	▲44

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

## ソニー生命の業績(6)

## ライフプランナー在籍数



(注) ( )は、嘱託ライフプランナー数で、内数です。

嘱託ライフプランナーとは、定年退職を迎えた後も、販売状況などの一定の要件を満たすことで、ライフプランナーとしての活動を続けている営業社員です。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

## ソニー生命の業績(7)

## 一般勘定資産の内訳

(億円)

	12.3末		12.12末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	39,757	83.2%	43,705	84.5%
株式	450	0.9%	285	0.6%
外国公社債	596	1.2%	605	1.2%
外国株式等	305	0.6%	244	0.5%
金銭の信託	2,882	6.0%	2,932	5.7%
約款貸付	1,387	2.9%	1,420	2.7%
不動産	729	1.5%	715	1.4%
現預金・コールローン	648	1.4%	581	1.1%
その他	1,026	2.1%	1,237	2.4%
合計	47,785	100.0%	51,729	100.0%

## ＜資産運用状況＞

公社債：2012年度・・・超長期債購入継続

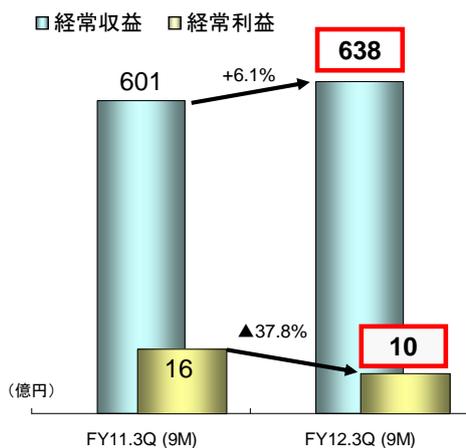
【債券のDuration】  
11.3末 18.5年  
12.3末 19.2年  
12.12末 19.1年

■「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用。

■一般勘定資産における公社債(金銭の信託で運用されているものを含む)の実質的な構成比

12.12末・・・90.2% (12.3末・・・89.2%)

## ソニー損保 業績ハイライト



(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
<b>経常収益</b>	601	<b>638</b>	+36	+6.1%
保険引受収益	594	<b>630</b>	+35	+6.0%
資産運用収益	6	<b>7</b>	+0	+14.2%
<b>経常費用</b>	584	<b>627</b>	+43	+7.4%
保険引受費用	441	<b>476</b>	+34	+7.8%
資産運用費用	0	<b>0</b>	+0	157.0%
営業費及び一般管理費	142	<b>150</b>	+8	+6.3%
<b>経常利益</b>	16	<b>10</b>	▲6	▲37.8%
<b>四半期純利益</b>	5	<b>5</b>	+0	+13.3%

- ◆ 前年同期比 増収減益。
- ◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びにより正味収入保険料が増加したことから、経常収益は増加。
- ◆ 自動車保険における保険金単価の上昇などにより損害率が上昇したことから、経常利益は減少。

(億円)	12.3末	12.12末	前年度末比	
<b>責任準備金残高</b>	673	<b>710</b>	+37	+5.5%
<b>純資産額</b>	180	<b>187</b>	+7	+4.2%
<b>総資産額</b>	1,186	<b>1,233</b>	+47	+4.0%

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

## ソニー損保 主要業績指標



(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
<b>元受正味保険料</b>	588	<b>621</b>	+5.7%	
<b>正味収入保険料</b>	594	<b>629</b>	+6.0%	
<b>正味支払保険金</b>	329	<b>350</b>	+6.3%	
<b>保険引受利益</b>	11	<b>3</b>	▲69.7%	
<b>正味損害率</b>	61.8%	<b>62.4%</b>	+0.6pt	
<b>正味事業費率</b>	25.5%	<b>25.5%</b>	0.0pt	
<b>コンバインド・レシオ</b>	87.4%	<b>87.9%</b>	+0.5pt	

## ＜主な増減要因＞

◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の増加により、増加。

◆ 自動車保険の保有契約件数の増加に伴う支払件数の増加などにより、増加。

◆ 保険金単価の上昇や損害調査費の増加により、上昇。

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料  
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	12.3末	12.12末	前年度末比	
<b>保有契約件数</b>	149万件	<b>154万件</b>	+5万件	+3.9%
<b>単体ソルベンシー・マージン比率</b>	557.8%	<b>525.0%</b>	▲32.8pt	

◆ 自動車保険を中心に保有契約件数が増加。

(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。

(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

## ソニー損保 種目別保険引受の状況

## 元受正味保険料

(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	118	171	+45.3%
海 上	—	—	—
傷 害*	5,517	5,883	+6.6%
自 動 車	53,177	56,129	+5.6%
自 賠 責	—	—	—
合計	58,812	62,185	+5.7%

## 正味収入保険料

(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	68	80	+16.4%
海 上	50	105	108.5%
傷 害*	5,681	6,073	+6.9%
自 動 車	52,978	55,922	+5.6%
自 賠 責	647	805	+24.4%
合計	59,426	62,987	+6.0%

\*「傷害」にはガン重点医療保険SURE(シュア)が含まれる。

## 正味支払保険金

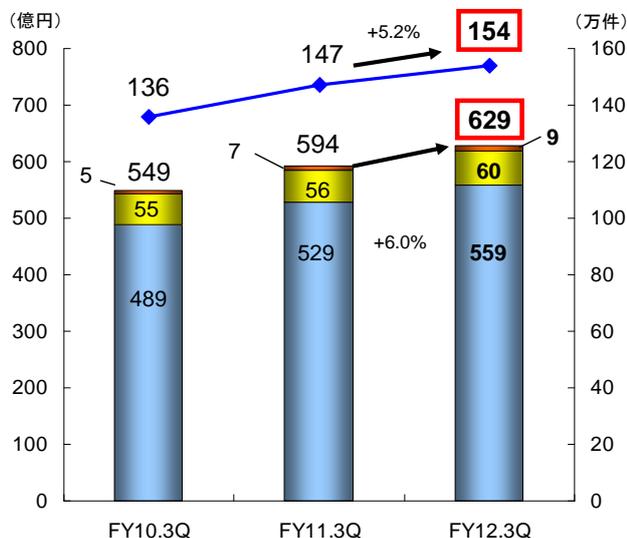
(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	40	0	▲98.0%
海 上	104	160	+53.8%
傷 害*	1,352	1,467	+8.5%
自 動 車	30,806	32,662	+6.0%
自 賠 責	647	750	+15.9%
合計	32,951	35,041	+6.3%

※金額は百万円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

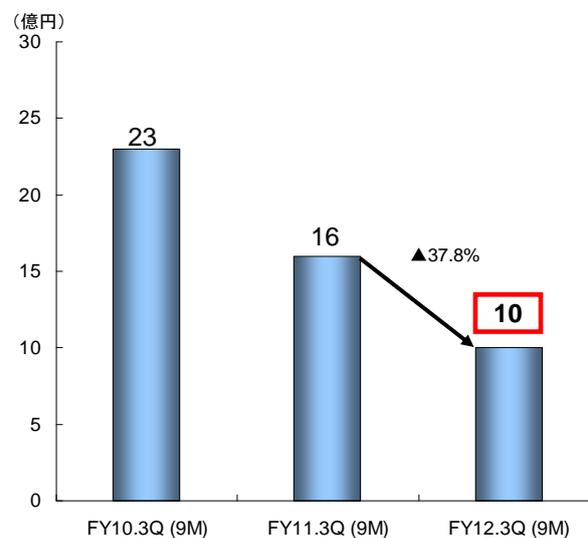
## ソニー損保の業績(1)

正味収入保険料 <9M>  
および 保有契約件数 <12月末時点>

■ 自動車保険 ■ 傷害保険 ■ その他  
— 保有契約件数



## 経常利益



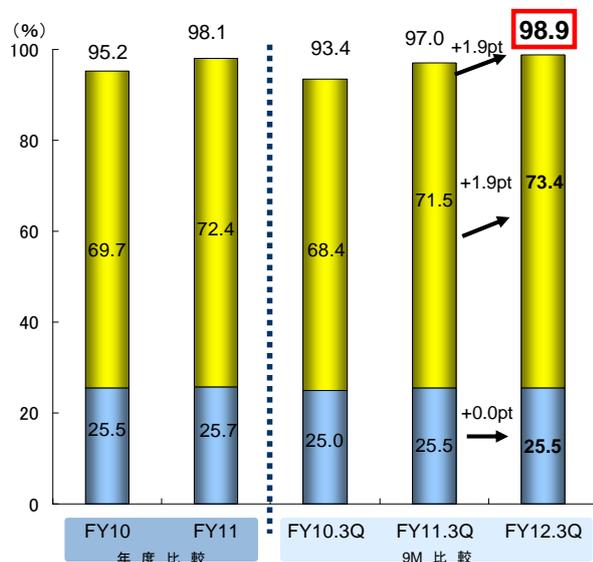
(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。  
両方で正味収入保険料の99%を占める。  
傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。

※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー損保の業績(2)

## E.I.損害率+正味事業費率

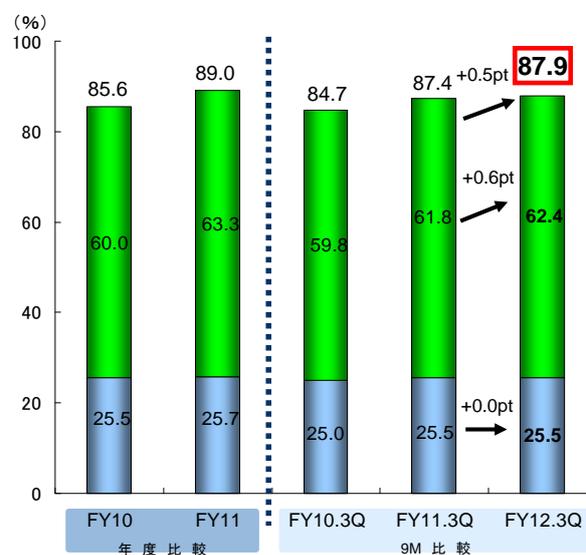
■ E.I.損害率 ■ 正味事業費率



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金+支払備金繰入額+損害調査費)÷既経過保険料  
 [除く地震保険、自賠責保険]  
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

## <参考> コンバインド・レシオ (正味損害率+正味損害率)

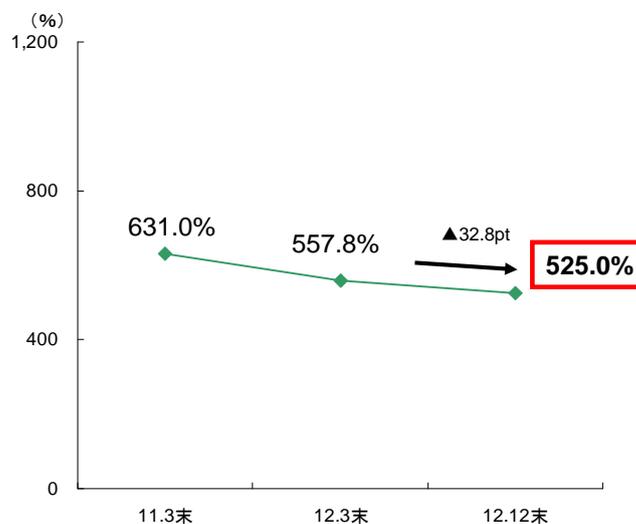
■ 正味損害率 ■ 正味事業費率



(注) 正味損害率 = (正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料  
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

# ソニー損保の業績(3)

## 単体ソルベンシー・マージン比率

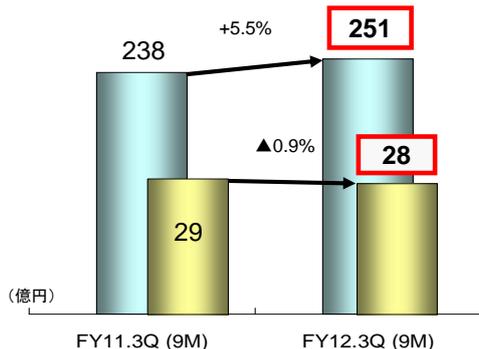


(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

## ソニー銀行 業績ハイライト(連結・単体)



□ 連結経常収益 □ 連結経常利益



## &lt;連結&gt;

◆ 連結経常収益は、㈱スマートリンクネットワークの子会社化により役員取引等収益が増加し、増収。連結経常利益は横ばい。連結四半期純利益は、昨年8月1日のソニーバンク証券の譲渡にともなう税効果により、増益。

## &lt;銀行単体&gt;

◆ 業務粗利益は、前年同期比減少。  
 ・資金運用収支は、住宅ローン残高の増加にともない貸出金利息が増加した一方で、資金調達費用は減少し、増加。  
 ・役員取引等収支は、外国為替証拠金取引の手数料無料化の影響もあり、微減。  
 ・その他業務収支は、債券関連取引に係る利益が減少したことにより、減少。  
 ◆ 業務純益は、業容拡大にともなう人員増強などにより営業経費が増加したこともあり、減少。  
 ◆ 四半期純利益(損失)は、ソニーバンク証券の譲渡に係る特別損失(28億円)を計上したことにより、損失を計上。

## &lt;連結&gt;

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
連結経常収益	238	251	+13	+5.5%
連結経常利益	29	28	▲0	▲0.9%
連結四半期純利益	11	22	+11	+95.0%

## &lt;銀行単体&gt;

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	221	228	+6	+2.8%
業務粗利益	136	133	▲3	▲2.2%
資金運用収支	120	131	+10	+8.9%
役員取引等収支	0.7	▲0.0	▲0.7	—
その他業務収支	14	1	▲12	▲86.8%
営業経費	102	105	+3	+3.0%
業務純益	31	28	▲3	▲11.3%
経常利益	29	26	▲2	▲8.9%
四半期純利益(損失)	16	▲1	▲17	—

(億円)	12.3末	12.12末	前年度末比	
純資産額	627	644	+16	+2.6%
その他有価証券 評価差額金	17	40	+23	+130.3%
総資産額	18,905	20,029	+1,124	+5.9%

※金額は億円未満切捨て(役員取引等収支を除く)、増減率は四捨五入で表示

21

## ソニー銀行 主要業績指標(単体)①



(億円)	11.12末	12.3末	12.12末	前年度末比	
預かり資産残高	17,834	18,643	19,730	+1,087	+5.8%
預金	16,883	17,622	18,684	+1,061	+6.0%
円預金	13,340	13,905	14,889	+983	+7.1%
外貨預金	3,543	3,717	3,794	+77	+2.1%
投資信託	950	1,020	1,046	+25	+2.5%
貸出金残高	8,059	8,355	9,297	+942	+11.3%
住宅ローン	7,227	7,496	8,306	+810	+10.8%
その他	832	859	991 <sup>*1</sup>	+131	+15.3%
自己資本比率 (国内基準) <sup>*2</sup>	11.86%	11.58%	10.71%	▲0.87pt	
Tier1 比率	9.85%	9.63%	8.91%	▲0.72pt	

## &lt;主な増減要因&gt;

◆ 円預金残高は、夏季ボーナスシーズンの特別企画が好調だったことや、昨年12月末にかけての円安進行により外貨預金から円預金へのシフトが進み、増加。

◆ 外貨預金残高は、昨年12月末にかけての円安進行により外貨が売られたものの、円換算の影響(+193億円)が上回り、増加。

◆ 貸出金残高は、住宅ローン残高の伸びに加え、シンジケート・ローンを中心とした法人融資残高の増加により、増加。

\*1 うち925億円は法人向け

\*2 25ページの自己資本比率(国内基準)の推移ご参照

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

22

# ソニー銀行 主要業績指標(単体)②



## <参考> 社内管理ベース

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
<b>業務粗利益</b>	135	132	▲3	▲2.2%
資金収支 <sup>*1</sup> ①	126	130	+4	+3.3%
手数料等収支 <sup>*2</sup> ②	7	4	▲3	▲42.0%
その他収支 <sup>*3</sup>	1	▲2	▲3	—
<b>コアベース業務粗利益 (A) =①+②</b>	134	135	+0	+0.6%
<b>営業経費等 ③</b>	104	104	+0	+0.6%
<b>コアベース業務純益 =(A)-③</b>	30	30	+0	+0.9%

### ■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

- \*1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
- \*2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- \*3 その他収支 …… その他業務収支から\*1と\*2の調整分を控除したものの(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)

### ■ コアベース

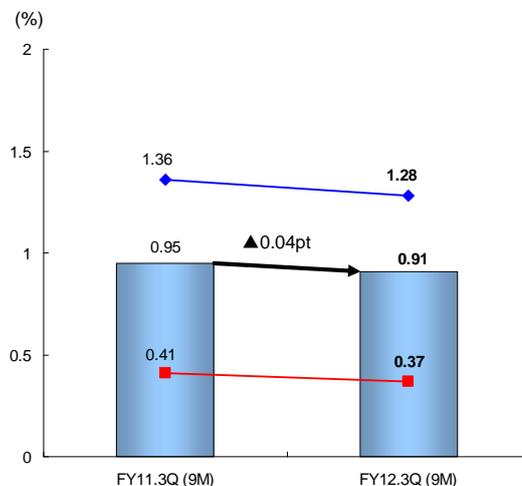
社内管理ベースの その他収支(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な収益を表すもの

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

※当期より、社内管理ベースの算出方法を一部変更しました。そのため、FY11.3Qにつきましても、当期と同様の算出を行った場合の金額を記載しています。

## <参考> 資金利ざや(社内管理ベース)の推移

◆ 資金運用利回り ■ 資金調達利回り ■ 資金利ざや



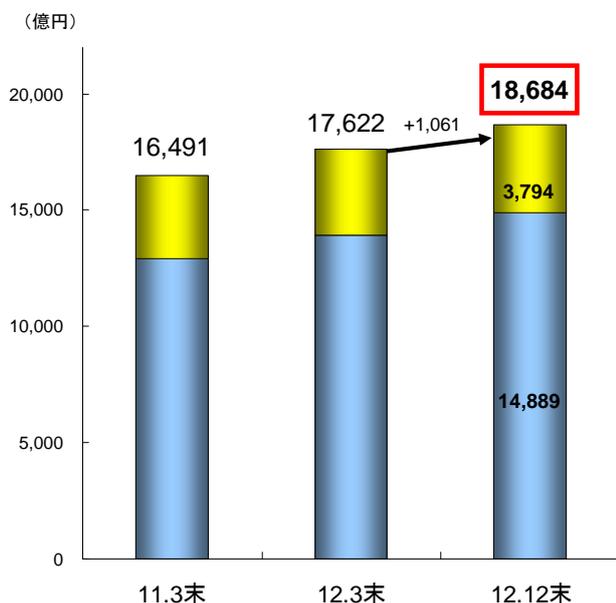
(注) 資金利ざや = 資金運用利回り - 資金調達利回り

# ソニー銀行の業績(単体)(1)



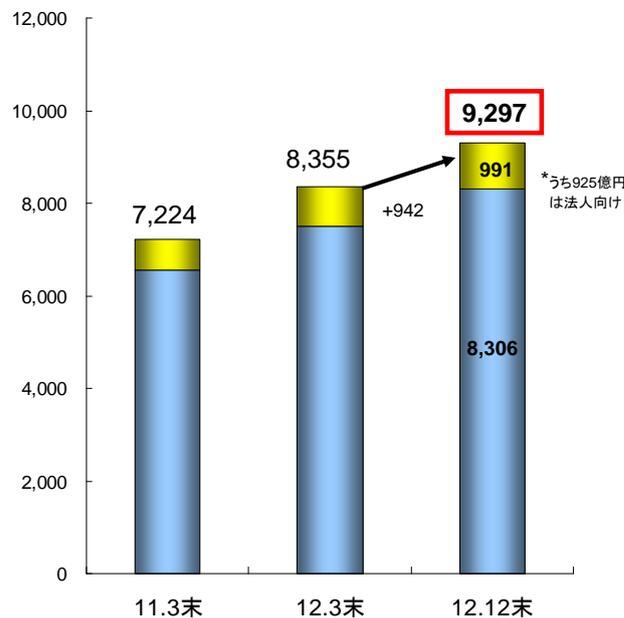
## 預金残高

■ 円預金 ■ 外貨預金



## 貸出金残高

(億円) ■ 住宅ローン ■ その他

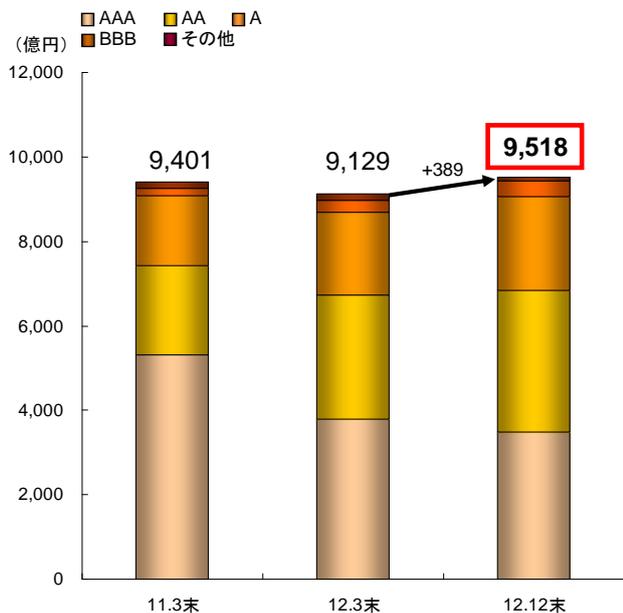


\*うち925億円は法人向け

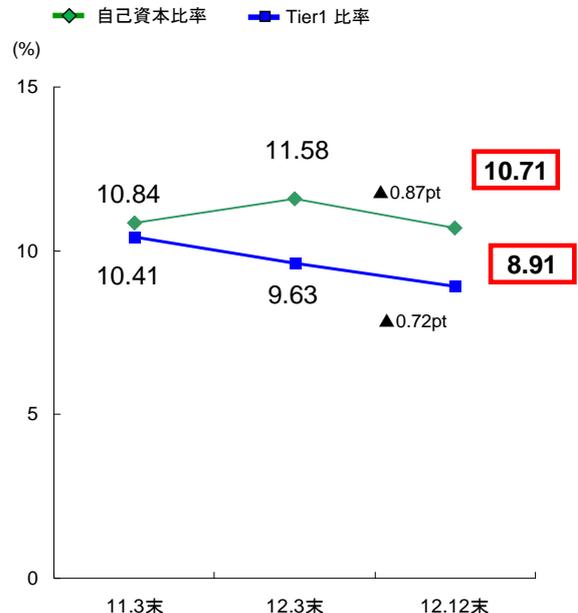
※金額は億円未満切捨てで表示

# ソニー銀行の業績(単体)(2)

## 格付別の有価証券残高の推移



## 自己資本比率(国内基準)の推移



(注)平成18年(2006年)金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。

## 2012年度 連結業績予想

26

## 2012年度 連結業績予想

### 通期連結経常収益、連結経常利益、連結純利益を上方修正

(億円)	FY11 (通期実績)	FY12 (今回予想)	FY12 (前回予想)	増減額 FY12 (今回予想) vs FY12 (前回予想)
<b>連結経常収益</b>	10,780	<b>11,570</b>	11,150	<b>+420</b>
うち生命保険事業	9,675	<b>10,381</b>	9,945	<b>+436</b>
うち損害保険事業	800	<b>850</b>	850	—
うち銀行事業	325	<b>345</b>	345	—
<b>連結経常利益</b>	746	<b>740</b>	670	<b>+70</b>
うち生命保険事業	681	<b>685</b>	615	<b>+70</b>
うち損害保険事業	28	<b>26</b>	26	—
うち銀行事業	34	<b>36</b>	36	—
<b>連結純利益</b>	328	<b>410</b>	370	<b>+40</b>

※金額は億円未満切捨てで表示

#### ■生命保険事業

経常収益、経常利益ともに、9カ月累計の実績が想定を上回って推移したこと並びに年初からの市況動向などを勘案し、前回の通期予想を上方修正。

#### ■損害保険事業

経常収益、経常利益ともに前回の通期予想を据え置き。

#### ■銀行事業

経常収益、経常利益ともに前回の通期予想を据え置き。

(注) 2012年5月10日に発表した通期予想を2013年2月7日に修正。

27

## ソニー生命の2012年12月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

28

## ソニー生命の2012年12月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

(億円)	12.3末 (国債レート)	12.12末 (国債レート)	増減
<b>MCEV</b>	10,415	<b>10,794</b>	+378
修正純資産	4,092	<b>4,503</b>	+411
保有契約価値	6,324	<b>6,291</b>	▲33

(1) 2012年12月末の保有契約をベースとして、解約・失効率と経済前提をアップデート。

(2) 2012年12月末の計算は、一部簡易な計算を実施。

(主な増減理由)

◆ 新契約価値の順調な積み上がりがMCEVの増加に貢献。

(億円)	12.3末	12.12末	増減
<b>経済価値ベースのリスク量</b>	5,515	<b>6,026</b>	+511

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、EUソルベンシーII (QIS5)の標準モデルを参考にした内部モデルを採用。

※ 本計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

29

## 参考情報

30

## その他トピックス①

### ソニーライフ・エイゴン生命の営業状況

営業開始：2009年12月1日

資本金：200億円（資本準備金100億円を含む）

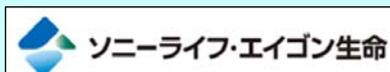
株主：ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%

取扱商品：変額個人年金保険（2種類4商品\*）

販売チャネル：ライフプランナー、および銀行等（計9社\*） \* 2013年2月14日現在

主要業績指標（2012年度第3四半期（9ヶ月累計））：

新契約件数：3,974件、新契約高：273億円（2012年12月末・・・保有契約件数：7,560件、保有契約高：577億円）



### ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローンの取扱い状況

■ 2012年12月末の住宅ローン残高の25%

2012年度第3四半期（9ヶ月累計）の住宅ローン新規融資実行金額の24%

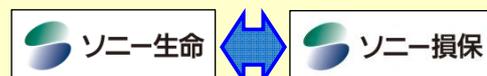
※銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



### ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

■ 2012年度第3四半期（9ヶ月累計）の新規自動車保険契約件数の約5%

※自動車保険取扱い開始：2001年5月



※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

31

## その他トピックス②

### <2012年度第3四半期以降の主な取り組み>

2012年10月1日	<b>損保</b>	ソニー損保、自動車保険のご契約者に対し、事故受付後1時間以内に専任担当者からご連絡することを約束
2012年10月11日	<b>損保</b>	ソニー損保、スマートフォン向け無料アプリ「トラブルナビ」に、「今ここGPS」と国内損保初の機能「今どこレーダー」を追加
2012年10月19日	<b>生保</b>	ソニー生命、「共創プロジェクト」第2フェーズ リリース
2012年10月22日	<b>銀行</b>	ソニー銀行、「中国人民元(CNH)、南アフリカランド、スウェーデンクローナ」外貨預金の取り扱い開始
2012年11月1日	<b>損保</b>	ソニー損保、自動車保険について証券ペーパーレス割引や特約の新設などの商品改定を実施。 (2012年11月1日以降が保険始期日となる契約が対象)
2012年11月14日	<b>当社</b>	2012年度(第9期) 配当予想(増配)を発表
2012年12月1日	<b>銀行</b>	ソニー銀行、外貨預金(全12通貨)の為替手数料を引き下げ、優遇制度を改定
2012年12月6日	<b>生保</b>	ソニー生命、Sony Life Insurance (Philippines) Corporationの事業譲渡
2013年1月14日	<b>銀行</b>	ソニー銀行、マネックス証券との新たな金融商品仲介サービス開始
2013年1月28日	<b>銀行</b>	ソニー銀行、Windows 8アプリ「カンタン外貨チャート」の提供開始
2013年1月31日	<b>当社</b>	第2回 無担保社債を発行 (2013年2月1日 ソニー銀行の財務基盤強化を目的とした同社への劣後ローンに充当)

32

## ソニー生命の保有する有価証券の時価情報(一般勘定)

### 有価証券の時価情報

売買目的有価証券を除く有価証券の時価情報のうち、時価のあるもの

(億円)

区 分	11.3末			12.3末			12.12末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	29,143	28,921	▲ 221	34,048	35,606	1,558	37,418	39,018	1,599
その他有価証券	9,401	9,643	242	8,951	9,561	609	9,290	10,044	753
公社債	8,844	9,041	197	8,491	9,026	534	8,983	9,667	684
株式	498	537	38	291	349	58	147	184	36
外国証券	19	18	▲ 0	153	167	13	144	173	28
その他の証券	38	46	7	14	17	2	14	18	4
合 計	38,544	38,565	20	42,999	45,168	2,168	46,709	49,062	2,353

売買目的有価証券の評価損益

(億円)

11.3末		12.3末		12.12末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
—	—	—	—	—	—

(注) 上記の売買目的有価証券は、「金銭の信託」に含まれているものも含む。

※金額は億円未満切捨てで表示

33

## ソニー生命の利配収入内訳

(単位:千円)

	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比
現預金	8	8	+7.0%
公社債	56,949,370	64,739,220	+13.7%
株式	527,819	351,448	▲33.4%
外国証券	2,294,520	2,802,992	+22.2%
その他の証券	241,659	177,645	▲26.5%
貸付	4,022,561	4,085,144	+1.6%
不動産	8,438,666	8,143,397	▲3.5%
その他	74,081	57,550	▲22.3%
合計	72,548,689	80,357,408	+10.8%

※金額は千円未満切捨て



お問い合わせ先:  
ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
広報・IR部  
TEL:03-5785-1074